

サガ電子工業

本社・工場を移転

久保泉第2
工業団地に

と建設費に大きな違いはなかったという。

工場内にエアコンはなく、

冬はまきストーブ、夏は地下水を利用した空調設備で快適性を保ち、光熱費を抑える。

ものづくりの基本は農業と考える小柳社長は「自然の力を最大限に生かす社屋からものを生み出すことで、企業として循環型社会に取り組む姿勢を示したかった」と話す。



築130年の酒蔵など移築

無線通信用アンテナ製造のサガ電子工業(小柳謙治社長)は、佐賀市開成から同市久保泉町の久保泉第2工業団地内に本社屋と工場を移転した。建物は築130年の酒蔵などを移築したもので、5月から現地での操業を始めている。

新社屋は、武雄市にあった築130年の酒蔵2棟と、有田町の築80年の民家の米蔵、納屋を活用。はりや柱のほか、壁に塗る土など使える材料は全て使った。一部2階建てで、延べ床面積は約800平方メートル。投資額は2億円弱だが、比較検討した鉄骨造りの建物築130年の酒蔵などを移築したサガ電子工業の本社・工場=佐賀市久保泉町

自然の力でエアコン不要



循環社会へ取り組み示す

同社は、飲料水用自動販売機のICカード決済情報を送信する機器に組み込まれるアンテナなどを製造。工程の大半が手作業で従業員数は22人。売上高は1億5千万円(2012年9月期)。

(星野一裕)